

平成24年度
実施事業

事務事業名 脳ドック助成事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	①各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 国民健康保険特別会計

部 名 保健福祉部 グループ名 国民健康保険グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	脳ドックを受診することにより、脳血管疾患などを早期に発見し、早期治療につなげることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	脳ドックを受診した被保険者に対し、次のとおり検査料金の一部を助成した。 ・頭部MRI、頸部MRA実施の医療機関～検査料金21,000円の内、市で17,000円を補助し、本人自己負担額は4,000円 ・脳CTスキャン実施の医療機関～検査料金10,500円の内、市で8,500円を補助し、本人自己負担額は2,000円 ※受診料の助成は、2年に1回としている。 【事業実績】 ・頭部MRI、頸部MRA実施の医療機関：285人 ・脳CTスキャン実施の医療機関：93人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	脳血管疾患等の早期発見・早期治療につなげるためにも事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 国民健康保険税	千円	5,372	5,636	6,095	6,095	6,095
一般財源	名称	千円					
事業費合計			5,372	5,636	6,095	6,095	6,095

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 脳疾患(循環器系の疾患)に係る1人当たり医療費を全道平均以下にする(H24年5月レポート分析：上段が道・下段が各市) ※疾病分類20分類の循環器系の疾患より	円	目標値	5,417	4,610	4,610	4,610	4,610
			実績値	4,580	4,017			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
・ 検査内容：生活習慣病に関連した血液検査等も含めての実施が望ましい	・ 25年度から、心電図検査と特定健診（一部医療機関は血液・尿検査）を含めた内容で実施予定。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 脳ドックについては、受診しやすい環境づくりが重要であることから、市が受診料を助成することは妥当である
	<input type="radio"/>	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 脳疾患の早期発見・早期治療につながるため必要性は高い。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市が受診料を助成する必要がある
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 H24年5月レポート分析1人当たり医療費は全道平均以下になっている。平成24年度の受診者のうち約3割に動脈硬化等も含めた所見がみられており、早期発見・早期治療につながっていると考えられる。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	脳ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持している。
-----------	----------------------	--------------------------------------

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

維持	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆ 拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆ 維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆ 改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆ 休止（暫定的に休止する事業）
- ◆ 廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆ 終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）